

神戸女学院大学 文学部公開講演会

女学院生が
お尋ねします。

柴田元幸 × × 内田樹

私はまだ、私を知らない。
KOBÉ COLLEGE

「幸せ」とは？

講演会前半は柴田先生に『ハックルベリー・フィンの冒けん』の翻訳についてお尋ねします。後半部では、お二人の先生方とハックとジムの祈りや、柴田訳「ウインドアイ」(ブライアン・エヴンソン著)の妹への想いに見られる幸せの意味を掘り下げます。

申し込み不要・無料

場所 神戸女学院大学 LA I -21

期日 2018年11月17日(土)

時間 14:00~15:30

講演会終了後、お二人の先生方と学生、教職員との懇親会をめじラウンジにて開催します(16時~17時予定)。学生の皆さんは是非、こちらにもご参加ください！

講師：柴田元幸先生

1954年、東京都生まれ。翻訳家、東京大学名誉教授。文芸誌『MONKEY』編集長。『生半可な学者』で講談社エッセイ賞、『アメリカン・ナルシス』でサントリー学芸賞、トマス・ピンチョン『メイスン&ディクスン』で日本翻訳文化賞を受賞。2017年、早稲田大学坪内逍遥賞受賞。

講師：内田樹先生

1950年、東京都生まれ。思想家。神戸女学院大学名誉教授。凱風館館長。専門はフランス現代思想、映画論、武道論。2007年『私家版・ユダヤ文化論』(文集新書)で第6回小林秀雄賞を、10年『日本辺境論』(新潮新書)で新書大賞2010を受賞。2011年第3回伊丹十三賞受賞。

講演会では特にハックの祈りの言葉を取り上げ、「何か大きなものへの祈り」が生み出す幸福感について考えます。祈りの力を信じていることができれば、さまざまな制約を超えて、きっと前向きに正しく進んでいけるはず。後半の柴田先生と内田先生とのご対談では、ハックの祈りを仏教の祈りや、神戸女学院大学のタグライン「私はまだ、私を知らない」に結び付けて、私たち学生と語って頂く予定です。


◎交通アクセス
阪急電鉄今津線
「門戸厄神」駅から徒歩15分

梅田駅
(阪急電鉄)
神戸三宮駅

阪急神戸線
「西宮北口」駅

阪急今津線
「門戸厄神」駅

キャンパス

 神戸女学院大学

〒662-8505 西宮市岡田山 4-1 文学部事務室
☎0798-51-8548 <https://www.kobe-c.ac.jp/>

◎キャンパス内は全面禁煙となっております。ご了解ください。

◎自家用車でのご来場はご遠慮ください。タクシーでお越しになる場合は西門をご利用ください。

◎学院内セキュリティ強化の為、北門と谷門は閉門しております。正門よりご入校ください。

主催：神戸女学院大学文学部学生有志
後援：神戸女学院大学文学部